

看護小規模多機能事業所 フォーピース紫原を 開設しました

平和会訪問看護ステーション
管理者 富貴田 景子

<医療法人平和会とは>

平成 25 年に訪問診療・訪問リハビリを中心とするひさまつクリニック、26 年に平和会訪問看護ステーション、27 年に平和会居宅介護支援事業所を開設しました。4 つ目の新しい事業所として、平成 29 年 8 月に看護小規模多機能事業所フォーピース紫原がオープンしました。

<看護小規模多機能事業所 フォーピース紫原とは>

平成 24 年に制度化された看護小規模多機能居宅介護事業所は、24 時間 365 日ご利用が可能で「通い」「泊まり」「訪問看護」「訪問介護」の 4 つのサービスをひとつの事業所が提供する地域密着型サービスです。看護職員を手厚く配置することによって、“看護”が在宅生活に密に関わり、医療ニーズの高い方・重度の要介護者の方が“地域で暮らす”ことを支援しています。県内でもまだ数が少なく、5 番目の事業所として開業しました。定員登録数は 29 名で、通い 1 日 18 名、泊りは 1 日 9 人まで受け入れが可能です。介護保険の利用で、要介護度に応じた月額・定額制利用料になります。建物は木造 2 階建てで、1 階にフロアスペースがあり、2 階が泊りのための部屋になっています。

『フォーピース紫原』の 4 つのピースは、プレジャー（楽しみ・喜び）・ポジティブ（前向き）・パッション（情熱）・ピース（平和）です。ご利用者・ご家族が楽しく前向きに人生を過ごせるように平和会スタッフが情熱をもって支援し続ける事で、安心して暮らせる地域作りにも繋がっていくことを方針として掲げています。

<平和会訪問看護ステーションとの連携>

平和会訪問看護ステーションは、併設型の訪問看護ステーションとして、平成 29 年 7 月に上之園から紫原



へ移転しました。看護師・リハビリスタッフ全員がフォーピース紫原の兼任職員であり、馴染みのスタッフが自宅にも訪問し、施設にも関わっている体制です。

例えば、Aさんは末期がんのターミナル期の方（要介護5）で娘さんが働きながら介護されています。状態が不安定なので「訪問看護」で状態確認し、「通い」に行けるかどうかの判断をします。娘さんの仕事に合わせ、日曜日でも「通い」や「泊まり」が利用可能です。また、在宅での介護負担が大きい場合は、「泊まり」で看取りまで支援できる体制を取っています。Bさん（要介護5）は、認知症で高齢の夫と二人暮らし。夫の介護負担軽減のために毎日「通い」、週1~2回「泊まり」を利用されています。精神症状に波があり、自宅での転倒も多く「訪問看護」「訪問介護」で支援しています。

<これからの展望>

ひとりひとりのご利用者の在宅生活を支えるとは何かと考え、試行錯誤しながらオープン1か月が経ちました。9月末現在で登録者数15名となり、これから益々質の高い看護・介護が求められると感じています。今後も、医療依存度の高い方でも“地域で暮らす”ことが当たり前の社会を目指して努力していきます。



平和会訪問看護ステーション 3周年記念



フォーピース紫原外観図